

守れ正親!! ジュニア防災隊



京都市立 正親小学校

辻元 博子

正親小 京都御苑の西 西陣



学校教育目標



の心を
基盤にし
て

～地域に誇りをもち，夢（目標）に向かって
主体的に高め合う子の育成～

創立150年

学制以前に地域の人々のお金を出し
合って作られた

番組小学校



密集市街地



5年 守れ正親!! ジュニア防災隊

目標

自然災害による被害についての知識を広げ、災害時に自分たちの身のまわりにある防災に対する備えや、避難に関する備えを調べるとともに、地域の防災意識を高めるために自分たちにできることを考え、「命」を守る備えについて発信することができる。

【探究課題】

防災のための安全な町づくりとその取組

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
町の防災のために努力している人々とその取組に携わる地域の人々がいることを理解する。多面的・多角的に考える良さを知る。	消防団の方の話や地域の防災の取組などから情報を集めたり、関連付けて整理したりすることによって、防災の大切さを考え、自分たちにできることについて考えることができる。	地域の一員として、防災についての意識を高め、 <u>地域の人と協働して行動、実践していこうと</u> する。

単元を構成する上で重要ポイント

- 地域の人をはじめ消防・役所など多くの人と出会い, 「防災」について共に考えることで, 人とのつながりができるとともに, 学校や自分たちが地域の中心的存在になる自覚を持つ。
- 子どもたちが地域のために何かをしなければと考える切実感を持たせ, 社会参画することで, 自己有用感が高まるようにする。
- 地域のことを調べることで, 地域に愛着を感じる。
- 活動を教師側から押し付けるのではなく, 児童自身が自然に実践したくなるように組み立てる

区役所の防災課の方に話を聞こう

- ・自助は防災の基本
→まずは自分を守る！
→家族や友だち・隣の人を助けにいくことができる！



「助けられる人」でなく、「助ける人」になる！

共助（きょうじょ）

- ・「お互いに助け合うこと」



公助（こうじょ）

- ・国や地方公共団体（京都市・上京区）の仕事
- ・じえい隊、消防、けいさつなどによる救助活動
- ・ひなん所を開く、救援物資を運ぶ、仮の住宅を建てるなど

ステージ1 発見課題 災害・防災ってなんだろう

消防分団の人に話を聞こう

(共助)

君たちだって消火器
やAEDくらい使える
よ。ぜひ使えるよう
になってほしいな。



こんなにいろいろな
道具が準備されて
いたんだ。
いざとなったら守っ
てくれるのだな。

ステージ1 発見課題 災害・防災ってなんだろう

消防署の人にAEDや消火器の使い方を教えてもらおう



(自助)

(公助)



ステージ2 追究課題 防災の方法を考えよう

通学路は安全だろうか



『災害に強いまち』をつくる

京都の良いところを残しながら、地震などの災害に備えて、「**いえ**」や「**みち**」などを安全にして、災害に強いまちをつくる。

1

ひなん

避難できる

(逃げられる)まち

2

たお

倒れない

(壊れない)まち

3

も

燃えにくい

燃え広がらないまち

ステージ2 追究課題 | 防災の方法を考えよう

災害に強い家ってどんなのだろう



ステージ2 追究課題 防災の方法を考えよう

地域の様子を調べよう



ステージ2 追究課題 防災の方法を考えよう

地域の様子を調べよう



ステージ2 追究課題 | 防災の方法を考えよう

台風でつぶれたかまどを作り直そう



ステージ2 追究課題 | 防災の方法を考えよう

台風でつぶれたかまどを作り直そう



ステージ2 追究課題 防災の方法を考えよう

台風でつぶれたかまどを作り直そう



ステージ3 提案課題

「もしも大きな地震が起こったら…」を
提案しよう

もしも、大地震が起こったらどうすればいいのだろう

社会福祉協議会のみなさんと ゲームを通して考えよう



ステージ3 提案課題 「守ろう正親 僕らの手で」を提案しよう

もしも、大地震が起こったらどうすればいいのだろう

災害弱者について知ろう



ステージ3 提案課題 「守ろう正親 僕らの手で」を提案しよう

もしも、大地震が起こったらどうすればいいのだろう

想定して考えよう



「もしも大地震が起こったら...」

正親小学校 総合学習「防災まちづくり」

ステージ3 提案課題 「守ろう正親 僕らの手で」を提案しよう

もしも、大地震が起こったらどうすればいいのだろう

想定して考えよう

6月11日、月曜日朝8時10分、通学中に突然、マグニチュード7の大地震が発生。

古い傷んだ空き家やブロック塀などが道に倒れ、近くにはけがをしている人もいる。

あなたはどうしますか？

ステージ3 提案課題 「守ろう正親 僕らの手で」を提案しよう

もしも、大地震が起こったらどうすればいいのだろう

想定して考えよう

寒さが続く2月28日、土曜日の午後2時、友達の家で遊んでいるとき、突然、マグニチュード7の大地震が発生。

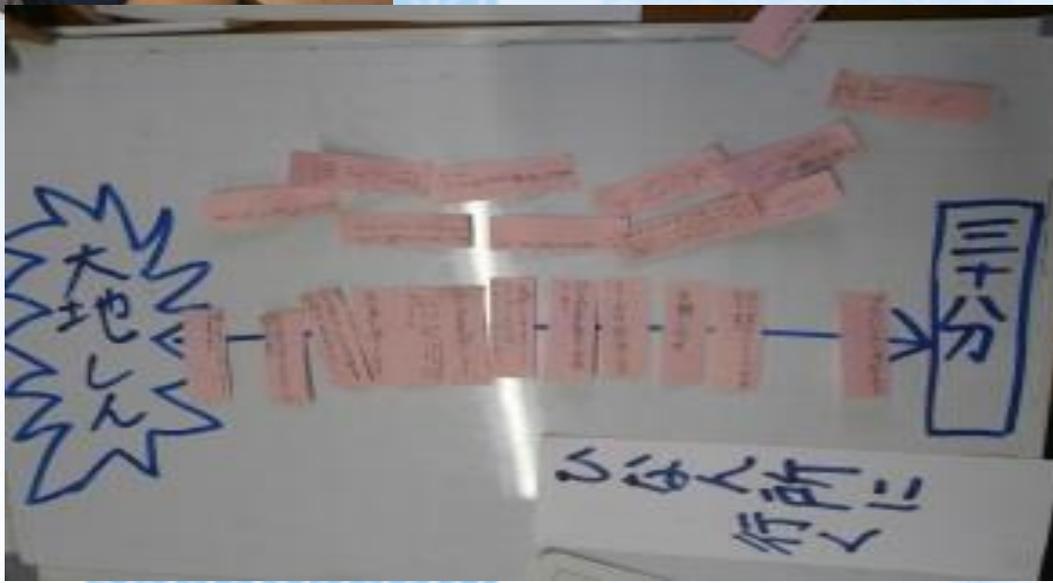
停電になり、テレビや携帯電話が使えない状況。家の中には、子どもと、90歳になる友達のおじいちゃんだけがいる。

あなたはどうしますか？

ステージ3 提案課題 「守ろう正親 僕らの手で」を提案しよう

もしも、大地震が起こったらどうすればいいのだろう

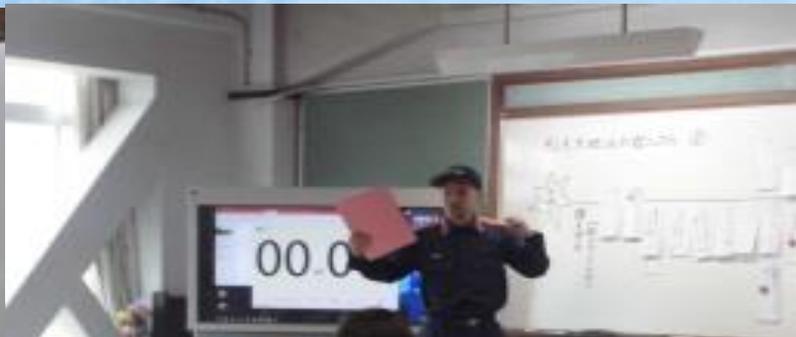
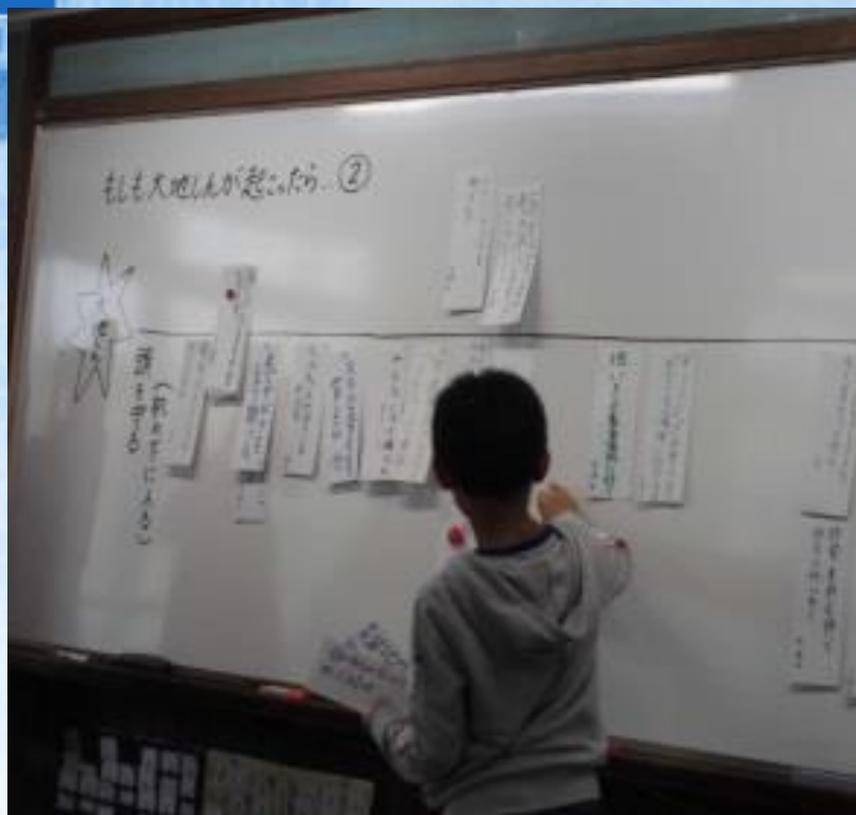
一人で グループで みんなで



ステージ3 提案課題 「守ろう正親 僕らの手で」を提案しよう

もしも、大地震が起こったらどうすればいいのだろう

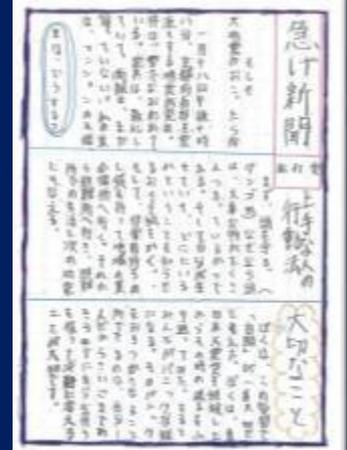
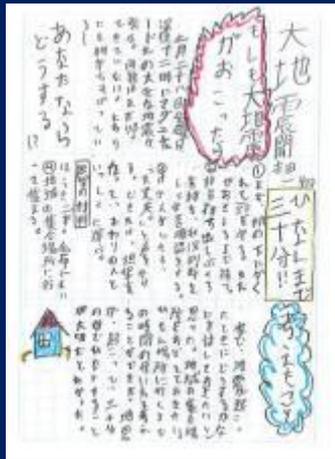
クラスで 専門家に



ステージ3 提案課題 「守ろう正親 僕らの手で」を提案しよう

もしも、大地震が起こったらどうすればいいのだろう

150周年 記念冊子に載せて 地域の人に伝えよう



ステージ3 提案課題 「守ろう正親 僕らの手で」を提案しよう

もしも、大地震が起こったらどうすればいいのだろう

150周年 記念冊子に載せて 地域の人に伝えよう



ステージ4 熟成課題

みんなの命を守るため自分たちにできることを考え、実践しよう

低学年・地域の人にも伝えよう

防災フェスタ

防災迷路

防災かるた・クイズ

すごろく

高齢者体験

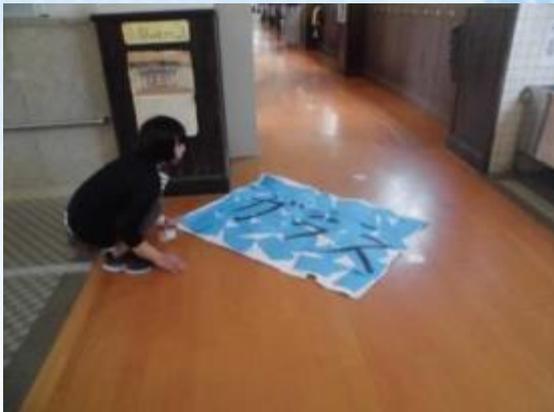
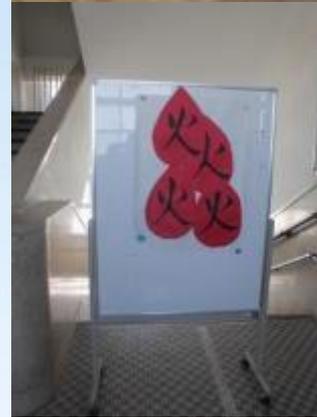
防災かまどで炊き出しして
ふるまう



休み時間避難訓練

ステージ4 熟成課題 自分たちでできることを考え、実践しよう

休み時間避難訓練を計画しよう



ミッションX 「正親 子ども防災マスターに挑戦」 ～路地を巡って謎解きだ～



1.参加者... 全学年希望者・保護者・地域の人・未就学者も可

2.内容 ハンターに見つからないようにしてグループで路地を回り、指令や防災のためのクイズ・暗号などを解く

3.ねらい

- 路地に名前がついていることや、その路地が袋小路か抜け路地かが路地の銘板を見ればわかることを知る。
- クイズや暗号を解くことで、楽しんで防災に取り組み防災意識が高まる。
- 路地の良さや危険性、そして改善しているところを知る
- 大地震があった時、近所の高齢者に「大丈夫？」と声をかけることができる

正親学区の71路地に愛称



災害時の避難・救急役立て 上京・地元住民や児童 銘板取り付け

京都市上京区にある正親学区の住民や正親小の児童が、学区内にある9カ所の路地に愛称をつけた。災害時の避難や救急に役立て、まちへの愛着を育む目的。西陣織をあしらった銘板をこのほど取り付け、住民らは「防災や路地の活用につなげたい」と願いを込めた。



●下部に西陣織があしらわれた路地愛称の銘板を見る住民や小学生●行き止まりや狭い箇所が多く、防災面で課題となっている細い路地(京都市上京区・正親学区)

同学区は京町家など木造住宅が集まり、細い路地や行き止まりが多い。京都らしい町並みが魅力の一方、災害時の避難や緊急車両の通行といった防災面が課題になっている。

そこで同学区防災まちづくり委員会が中心となり、昨年から愛称つけに着手。町内会単位で話し合っって命名したほか、町内をまたぐ路地については、児童が授業でまち歩きをして案を出した。

お稲荷さんがある「稲荷路地」や、ネコが出没する「招き猫ハツト」路地」などユニークな名前も目立つ。各戸けを通じて路地の位置や特性を再確認し、防災意識の醸成にもつながったという。

銘板はヤマザクラの板の下部に西陣織をあしらった和風のデザインで、住民の了解を得て家の壁や門などに取り付けた。今後は非常時に救急隊がすぐ駆け付けられるよう、警察や消防と愛称を共有していく。

正親小5年の志岐花音さん(11)は「二つ一つの通りに意味がある。災害や道に迷う人を案内する時に名前を生かしたい」と話す。同委員会の尾崎富美雄会長(76)は「路地は文化だ。なくせない以上、いかに有効活用するか考えていきたい」と力を込めた。

(森野吉)





4.方法 異学年1グループ3～4人に分かれ、グループで地図を頼りに路地を歩き、そこにおいてある指令・クイズ・暗号などを解きながら、回答していく。途中、ハンターがいるので、見つからないように隠れて移動する。



- 5.ルール
- ・全員ゼッケンをつける。
 - ・魂カードは一人2枚もらう。
 - ・チームのすべての魂カードがなくなれば 途中でも学校に戻り、体育館でAEDを使って人を救うと、魂カードをもらえるので、再度参加できる。
 - ・走ってはいけない。走ったのをハンターに見つかった場合は、魂カードを全員一枚ずつ没収。
 - ・ハンターは隠れたり、じっと待ち伏せしたりしない。

ミッションX



ミッションX②



AEDを使って
人を助けよう
助けられたら一人
一枚魂がもらえる

ミッションX③



小竹さんのお宅をノックし「おじいちゃん、おばあちゃん元気？」
と言う。
「元気だよ。」
と言ってもらって握手
あぐしあぐする。

ミッションX④



ここは非常の時の
とびらです。開けて
向こう側に行つて
指令にしたがえ。

ミッションX⑤



クイズ
人がたおれています。
運びたいのですが、何を使えば
運べますか。
次の中から二つ選べ
①ほうき ②新聞 ③冷蔵庫
④毛布



ミッションX⑥



クイズ
この路地の名
前は何か。

ミッションX⑦



ここは、災害に強くなるために
作り直された。どこが良くなっ
たのか、答えよ。
A 「へい」が倒れそうなので、
低い「へい」にした。
B 路地の入口がつぶれそうだ
から、強い入口にした。
C 道幅が狭いので、広げて入
りやすくした。

ミッションX⑨



クイズ

かんばん

路地の看板を見るだけで、この先

が行き止まりの袋小路の路地か、

通りぬけができる路地がわかります。

どこを見ればよいでしょう。



ミッションX⑩



クイズ

地震が起きた時最初に行く場所はどこ？

- ① 避難所(ひなんしょ)
- ② 地域の集合場所
- ③ 友達の家

ミッションX⑪



ここは町内の避難場所です。大地震があったら、30分をめどに集まりましょう。自分の町内の避難場所を家に帰ったら、確認しておきましょう。

ミッションX⑫



ミッション

大地震が起きてひなんするとき一番下の子が手をガラスで切った。今持っているもので手当てをせよ。そしてその手当を近くの見守り隊に見てもらい、サインをもらおう。

暗号 ぼ



ミッションX⑬



暗号 う

クロスロード(究極の選択)
 おばあちゃんと二人だけの時に大地震が起きました。あなたはど
 うする？

- ① おばあちゃんを置いて避難する
- ② おばあちゃんと一緒に避難する
- ③ 助けを呼びに行く。

ミッションX⑭



暗号 む

クイズ
 路地の名前の〇〇路地と
 〇〇小路はどう違う？

- ① 路地は太い道 小路は細い道
- ② 小路は通り抜けられる道 路地は行き止まりの道

ステージ4 熟成課題

みんなの命を守るため

自分たちにできることを考え、実践しよう

全校児童・地域全体に伝えよう

ミッションX「正親 子ども防災マスターに挑戦」
～路地を巡って謎解きだ～



○参加者...児童65名(全校170名)

保護者(ハンター10名 安全見守り20名)

地域役員等 10名

・区長をはじめ区役所・市役所10名計115名



成果

アンケートより(保護者)

- 近所なのに知らない路地があったり, 防災の工夫がされていることを知ったりできた。
- 路地の看板に意味があるのを初めて知った
- 子どもと共に学ぶことができた
- 勉強と遊びが両立できた。

守れ正親!! ジュニア防災隊



京都市立 正親小学校

辻元 博子